

# デジタルバイオマーカー（dBM） の活用と開発

川畑 宣勲 先生

船津 敏之 先生

（日本製薬工業協会）

デジタルバイオマーカー（dBM）は、デジタル技術によって客観的・定量的に測定される生体データである。dBMを活用することで、従来は医療機関の受診が必須であった測定が、場所や時間を問わず実施可能となり得る。また、患者の日常生活をdBMで捉えることで、患者にとってより意味のある評価が実現できる可能性があり、近年では臨床試験での活用も増え始めている。今回の研修会では、日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 臨床評価部会での調査をもとに、dBMの活用事例や考慮事項、患者の声を反映したdBMの開発などについて紹介する。

Zoom(ウェビナー)によるLIVE配信

# 10月22日（火） 14:00～15:30

対象者

特定臨床研究に携わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師  
その他の従業者（初中級）  
※どなたでも受講できます

お申込み

下記のアドレスまたはQRコードからお申込み下さい



[https://juntendo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_WmScleXcRE6t0tisajpJFw](https://juntendo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_WmScleXcRE6t0tisajpJFw)  
(当日まで受付可)

ARO協議会プロジェクトマネジャー、スタディマネジャー認定制度受講単位対象セミナーです。

主催 順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研究・治験センター

お問合せ 臨床研究教育事務局 [r.kyoiku@juntendo.ac.jp](mailto:r.kyoiku@juntendo.ac.jp)

研修会情報 <https://jcrtc.juntendo.ac.jp/about/workshop/>